

事業環境改善のための関係府省庁連絡会議（第5回）

（開催要領）

1. 開催日時：2019年12月4日（水） 11:00～11:20
2. 場 所：官邸2階小ホール
3. 出席者：
 - 西村 康稔 経済再生担当兼全世代型社会保障改革担当
兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
 - 西村 明宏 内閣官房副長官
 - 宮下 一郎 内閣府副大臣
 - 内閣官房日本経済再生総合事務局次長
 - 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
 - 内閣官房IT総合戦略室審議官／内閣府大臣官房番号制度担当室長
 - 内閣府規制改革推進室長
 - 金融庁総合政策局政策立案総括審議官
 - 総務省大臣官房審議官（税務担当）
 - 法務省大臣官房司法法制部長
 - 法務省民事局長
 - 財務省国際局長
 - 財務省大臣官房審議官（主税局担当）
 - 財務省大臣官房審議官（関税局担当）
 - 国税庁長官官房審議官
 - 厚生労働省政策立案総括審議官（統計、総合政策、政策評価担当）
 - 経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部長
 - 国土交通省住宅局長
 - 国土交通省港湾局長
 - 国土交通省大臣官房建設流通政策審議官

（議事次第）

1. 開会
2. 議事
 - 世界銀行の事業環境ランキングに関する更なる取組の検討について
3. 閉会

【開会】

宮下内閣府副大臣より、開会が宣言された。

続いて、西村経済再生担当兼全世代型社会保障改革担当兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）より、最新の事業環境ランキングで、2年越しの努力が実り、日本の順位が大幅に改善したことに対する、これまでの関係省庁の取組への感謝の言葉が述べられた一方、本年度末を目指し世界最高水準の事業環境の実現を目指した改革案をとりまとめるべく、検討を進めていただきたい旨、発言があった。

また、西村内閣官房副長官より、分野別に見て、下位という評価をされている分野を担当している省庁には、評価を真摯に受け止めて、更なる奮起を願う旨、発言があった。

【議事 世界銀行の事業環境ランキングに関する更なる取組の検討について】

内閣官房日本経済再生総合事務局より、Doing Business2020の結果概要及び、事業環境ランキングに関する更なる取組の検討について説明があった。

その後、各省より世界銀行の事業環境ランキングに関する更なる取組の検討について発言があった。

【閉会】

西村内閣官房副長官より、各省庁は連携して、引き続き、我が国のビジネス環境の正確な反映及び評価手法の見直しについて、働きかけを行っていただきたい旨、また、我が国の事業環境改善に意味があるとともに、順位向上につながる抜本的な取組の検討を願う旨、発言があった。

最後に、西村経済再生担当兼全世代型社会保障改革担当兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）より、世界最高水準の事業環境の実現は、日本経済の持続的な成長を実現するための中心的な重要な柱。我が国が、世界のトップクラスであり続けるためには、政府が率先して、制度改革、特に、オンライン化、ワンストップ化を進めていただきたい。可能な限りスピードアップしながら中長期的な高い目標を掲げて改革に取り組んでほしい旨、発言があった。

（以上）